

## 8-6-3 CPD委員会

### 1. 主な活動の記録

#### (1) CPD 委員会の開催

委員会開催回数：10回

#### (2) 主な内容

令和元年度の委員会活動は主に、①CPD 監査の実施と監査結果の分析、②協会会員の CPD 取得支援、③CPD ガイドラインの改定、CPD 形態の追加の3点を中心に委員会活動を行った。

##### a) CPD 監査の実施と監査結果の分析

令和元年度の監査として、CPD 記録登録者の1%程度を目途に200名を対象として監査を実施した。CPD 記録登録状況のうち、教育分野では、専門技術分野が78%を占めており、昨年度の84%より僅かではあるが偏りが小さくなった。教育形態別では、昨年と同様に講習会等への参加が36%と最も多く、次いで自己学習他、企業内研修の23%、業務経験10%の順となっている。

監査における何らかの指摘、修正を要する総指摘数が総記録数に占める割合は10%であり、3年連続して同等を維持している。また、「削除相当」、「修正相当」の合計数が総記録数に占める割合は2.5%であり、一昨年度4.5%、昨年度3.4%から3年連続して減少している。

CPD 登録システムの改善や会員の登録への習熟等により、昨年度より記録の不備が減少しており、CPD 記録登録が概ね適正に行われていると判断できる。

##### b) 協会会員の CPD 取得支援

協会会員の CPD 取得を支援するため、WEB 等を活用することにより、多くの会員に利用して頂くことを目的として活動した。今年度は、会員企業のニーズ、テーマの妥当性、過年度の撮影テーマとの整合性を踏まえて、下記8セミナーを協会HP上で視聴できるようにした。

①ITS 専門員会講習会～維持可能な観光と社会インフラ（55分）、②令和元年度 ICT セ

ミナー2019（2時間45分）、③令和元年度 道路専門委員会セミナー（1時間39分）、④PFI 専門委員会セミナー～多様化する PPP/PFI～（2時間30分）、⑤環境配慮専門委員会セミナー～農村地域の活性化について、気候変動による影響と適応策～（2時間15分）、⑥都市計画専門委員会セミナー～都市のスポンジ化対策について～（2時間40分）、⑦港湾専門委員会セミナー～コンサル業界における女性技術者の活躍（2時間36分）、⑧河川・環境専門委員会合同セミナー～大規模出水による河川環境への影響と河川工事計画・管理への提言について～（2時間8分）

##### c) CPD ガイドラインの改正、CPD 形態の追加

RCCM の更新登録に必要な CPD 単位数の変更とともに、教育分野分類の多様化に伴い、利用者の CPD 登録の適正化を図るため、CPD ガイドラインの改正を行った（2020年4月第6版）。

CPD 形態の技術資格の取得対象について検討を行い、対象資格を追加した。

#### (3) CPD 記録申請等

##### ① CPD 記録申請者数

令和元年度：148,058人

平成30年度：139,410人

平成29年度：130,911人

##### ② CPD 記録申請件数

令和元年度：423,200件

平成30年度：388,200件

平成29年度：360,500件

##### ③ CPD 証明書発行件数

令和元年度：6,848件

平成30年度：7,081件

平成29年度：5,845件

### 2. 次年度の活動について

次年度の委員会活動は主に、①「CPD 監査」の実施と監査結果の分析及び CPD 監査の効率化に向けた検討、②協会会員の CPD 取得支援、③CPD 制度、CPD システムの定着など、主に3点を中心に委員会活動を行う。

（CPD委員会委員長 片山 善郎）